

井上 勝 (2003・経済)

福島県：会津東山温泉コース

私は滋賀県にある人口5万5千人程の市の職員です。震災直後から水道課や建設課、税務課や市民課といった即戦力として被災地の役所でお役にたてるセクションの同僚たちが次々とお手伝いに派遣されて行く中、私はといえば、担当部署の関係から、支援物資の仕分けや義捐金への募金等はさせていただいたものの「私にできることは何?すべきことは何?」と思いながら1年半が過ぎて行ったというあり様でした。そのようなとき、この企画を同窓会報で目にし参加してみようと強く思い、福島県会津若松市等を訪問させていただきました。風評被害でご苦労なさっている農家の方のお話、観光客が戻らないで困っている方々についてや、ジョイント部が崩れたままの病院の建物、重機を使っの小学校のグラウンドの除染作業など、現地での見聞だからこそ実感できた事実。まだまだ震災は終わっていないのだということを痛切に感じました。訪問から約2週間、気懸りではあっても中々現地へは行けない周りの人たちへ、私の見聞を伝える。今、これが現在の私にできること、すべきことだと思っています。